

このバージョン(Ver4.0)での更改箇所

このバージョンでの主な更改箇所は下記の通りです。

- 1) 最新の下記JIS及び強制法規の技術基準に規定された応力計算方法及び材料の許容引張応力を取入れ
 - a) JIS B8265-2016「圧力容器の構造-一般事項」(30MPa未満)
 - b) JIS B8266-2006「圧力容器の構造-特定規格」(100MPa未満)
 - c) 労働安全衛生法 圧力容器構造規格関係(2008年11月17日までの変更を含む)
 - d) 高圧ガス保安法 特定設備の技術基準の解釈(2003年3月31日までの変更を含む)
 - e) ガス事業法 ガス工作物技術基準の解釈例(2015年3月9日までの変更を含む)
- 2) 任意形フランジがJISの規定から除外されたことによる対応
- 3) 高圧ガス保安法の強度計算様式フォームの変更による対応
2014年10月17日改正分を含む
- 4) 任意のボルトの最小径の入力機能追加
- 5) 計算画面シートに保護解除ボタンを追加
- 6) 自動設計によるフランジ各部の寸法決定機能を削除
- 7) 使用できる単位は国際単位(SI)のみとし、従来単位を削除